



9.11 tue

一人ひとりの障害のある人を大切にできる社会を

第35回 渋川広域圏 福祉パレード

9月の知的障害者福祉月間にちなみ、関係者約50人が参加して渋川広域圏福祉パレードが行われました。吉岡町では、元木正明さんがより良い町づくりを願って次のメッセージを読み上げました。

「私は、吉岡町にある薫英荘で、生活しています。私は、スタンプアート班で仕事をしています。スタンプアート班では、古切手を使って絵を作っています。来年3月にある、あすなろ祭に向けて車の作品を作っています。入選を目指して頑張って作りたと思います。

また、私はトーンチャイムクラブに参加しています。11月に行われる、町民文化祭に向けて一生懸命練習をしています。今から本番のステージがとても楽しみです。多くの人に観てもらいたと思います。

これからもよりよい吉岡町になるよう、みんなで協力し合い楽しく生活して行きたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。」

8.27 mon

小倉ぶどう生産組合

防犯パトロールを実施

吉岡町小倉ぶどう生産組合(大林正彦組合長)では、ぶどう狩りのシーズンとなるお盆の時期から、組合員による自主パトロールを実施しています。夜間から早朝にかけて、2人一组でブドウ畑を巡回し、ブドウの盗難防止に努めています。

また、8月27日には渋川警察署の指導のもと、榛東村ぶどう生産連合会(清水哲連合会長)と合同で防犯活動を行いました。参加した15人の関係者は、パトロールにおける注意点について署員からアドバイスを受けた後、軽トラックに分乗し、パトカーの先導で畑の見回りに出かけました。





8.18^{sat}

地域をあげて

51年ぶりのお祭りが復活

第10区(小材里志区長)では、8月18日に町の地域ふれあいサポート事業を活用して、51年ぶりに夏まつりを開催しました。

会場となった三宮神社には、お祭りを楽しみにしていた区民が大勢集まり、子供神輿、子供獅子舞、盆踊り、花火などの催しがにぎやかに行われました。

久しぶりのお祭りに、地域の皆さんが協力し一体となって楽しんだ一日でした。



8.28^{tue}

子どもたちを見守る

安全パトロールキャップ

吉岡町交通安全会では、子どもたちの安全対策の一環として、明治小学校に「安全パトロールキャップ」300個を寄贈しました。

色は爽やかなブルーと白が基調で、正面のキャラクターは明治小マスコットの「めえちゃん」です。地域の安全ボランティアの人や保護者の人に着用していただき、多くの方が子どもたちを見守っていることをアピールできます。子どもたちにとっても、安心して登下校することができます。



8.21^{tue}

町認定農業者と小学生

大事な田んぼにネット張り

町認定農業者連絡協議会では、田植え体験に引き続き、夏休み期間中の8月21日に田んぼのネット張りの指導を行いました。

駒寄小のほ場には、5年生約50人が集まり、まずは田んぼの中の草むしりを開始。最初のうちは、「冷たい!」とはしゃいでいましたが、しばらくすると稲に触れたため体がかゆくなってしまいました。それでも、なんとか認定農業者の人の指導のもと、無事にネットを張り終えました。

かゆさに耐え、子ども達はまたひとつ米づくりの貴重な経験をすることができました。

